

最近の消費・輸入動向等について

《 目 次 》

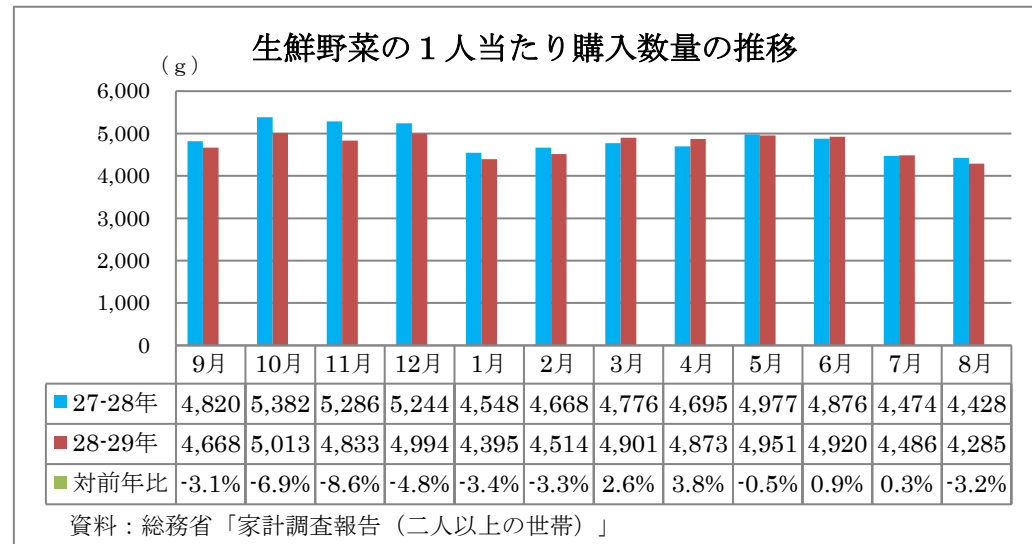
- 1. 家計における購入、支出動向等
 - (1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入 P. 1～4
 - (2) 野菜の摂取量 P. 5
- 2. 小売の販売動向
 - (1) チェーンストア P. 6
 - (2) スーパーマーケット P. 7
 - (3) 品目別小売・卸売価格 P. 8～10
- 3. 輸入の動向 P. 11～13
- 4. 平成28年産秋冬野菜主要品目の主産県別生産・出荷等 P. 14～15
- 5. 今後の気象予報 P. 16～17

1. 家計における購入、支出動向等

(1) 生鮮野菜の1人当たり月別購入

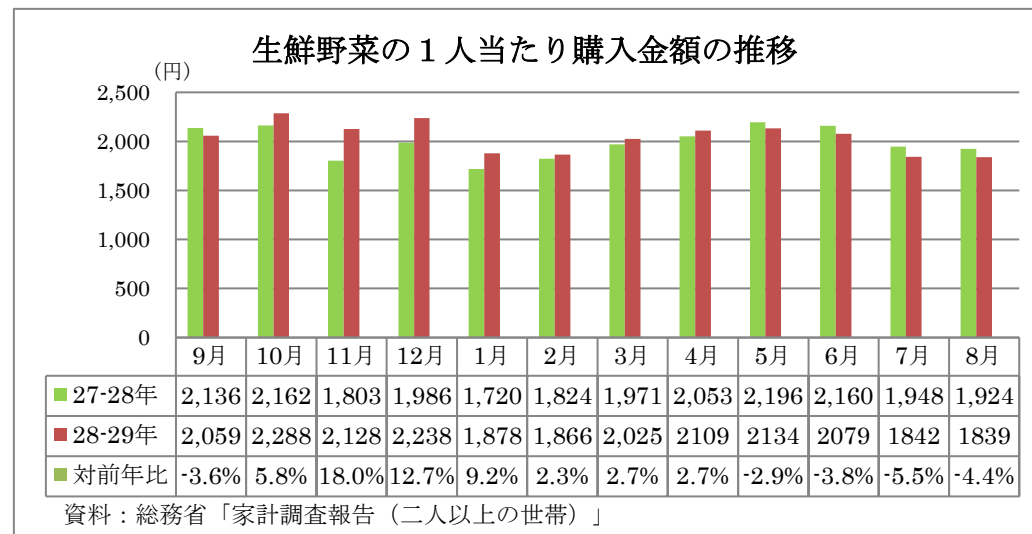
<購入数量>

- 生鮮野菜の1人当たりの購入数量は、9月は、相次ぐ台風の影響、秋雨前線による長雨の影響もあったことから、前年を下回った。
- 10月から2月は、長雨・日照不足等により出荷数量が減少し高値となったことから、前年を下回った。
- 3月及び4月は、キャベツ等の価格が低温及び干ばつの影響で高値となったものの、3月は気温の低下により鍋物需要が高まったこと、4月は気温の上昇によりサラダ関連商材の需要が高まったこと等から、前年を上回った。
- 5月から7月は、概ね前年並みで推移した。
- 8月は、東日本の太平洋側を中心に長雨が続いたことから、前年を下回った。

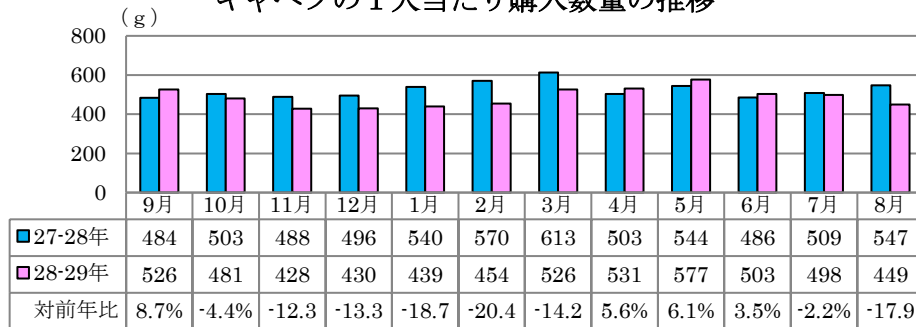


<購入金額>

- 生鮮野菜の1人当たりの購入金額は、9月は、相次ぐ台風の影響、秋雨前線による長雨の影響もあったことから、前年を下回った。
- 10月～4月は、主要野菜の価格が長雨・日照不足等による品薄感から総じて高値となったことから、前年を上回った。
- 5月～7月は、天候にも恵まれて、キャベツ、たまねぎ等の出荷が順調で、価格が前年に比べてかなり低下したことから、前年を下回った。
- 8月は、東日本の太平洋側を中心に長雨が続いたことから、前年を下回った。

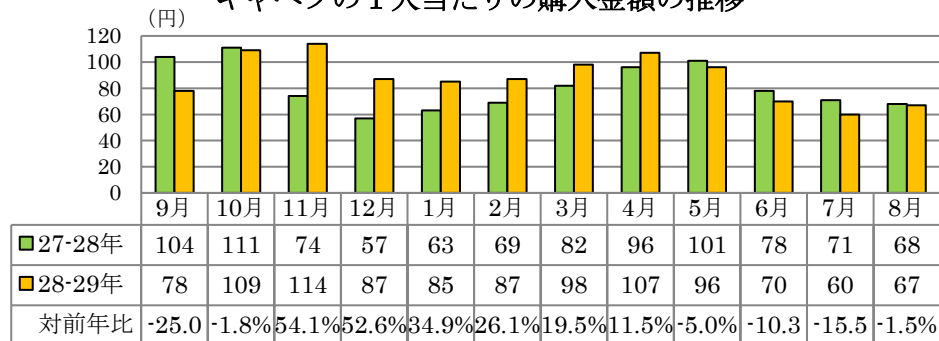


キャベツの1人当たり購入数量の推移



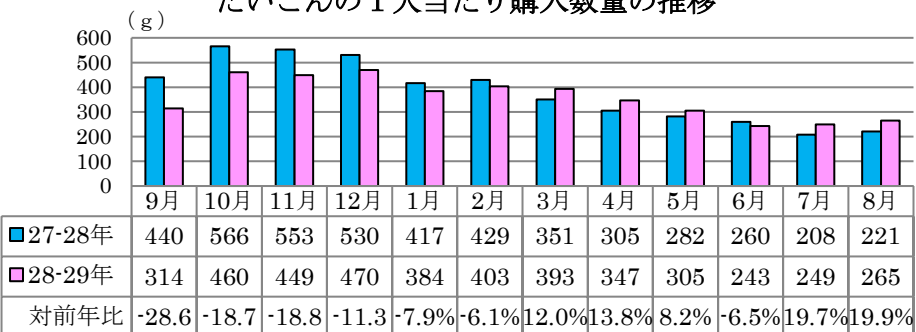
資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

キャベツの1人当たりの購入金額の推移



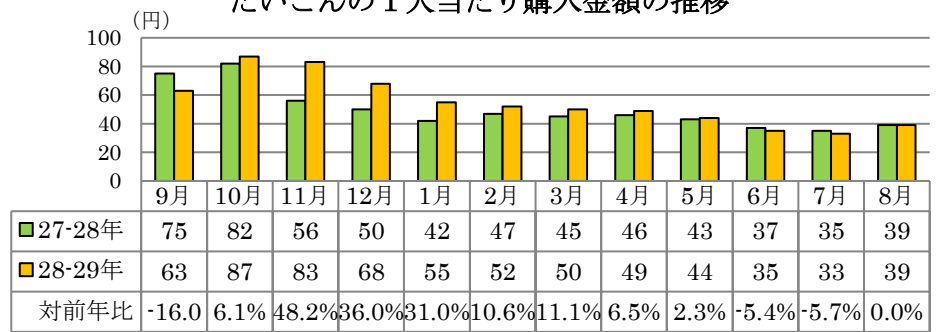
資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

だいこんの1人当たり購入数量の推移



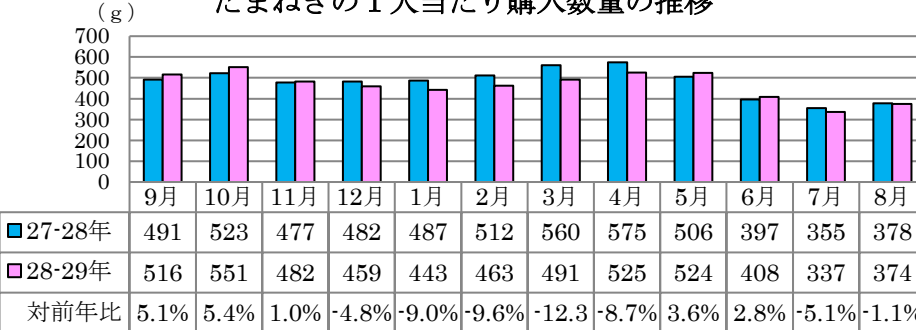
資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

だいこんの1人当たり購入金額の推移



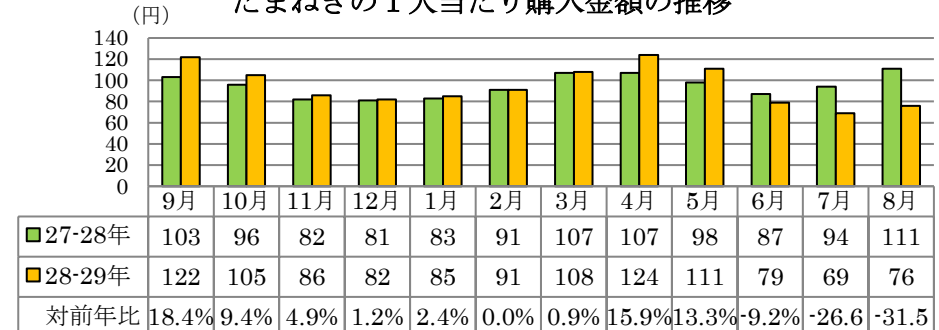
資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

たまねぎの1人当たり購入数量の推移

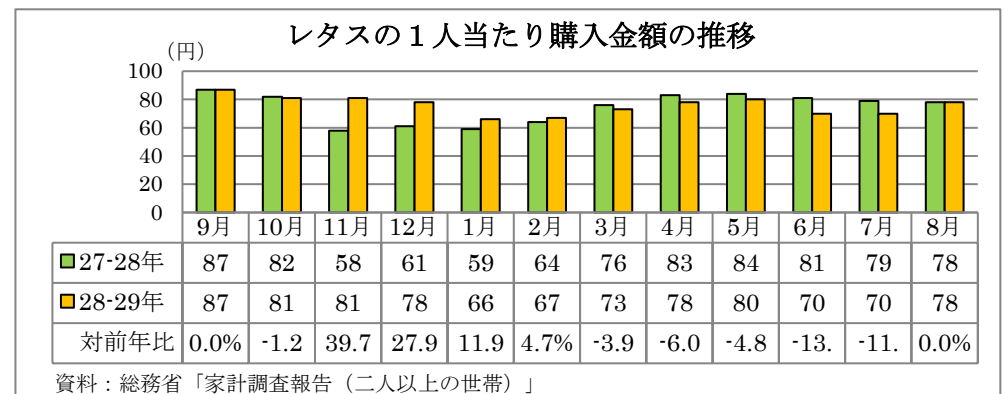
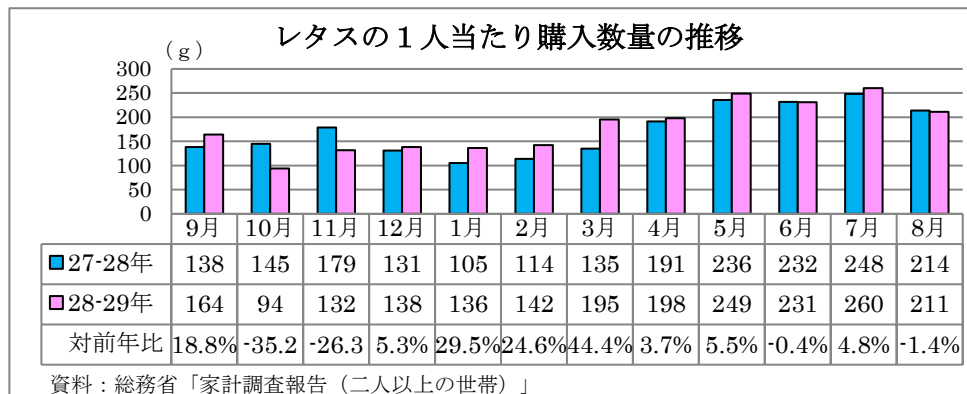
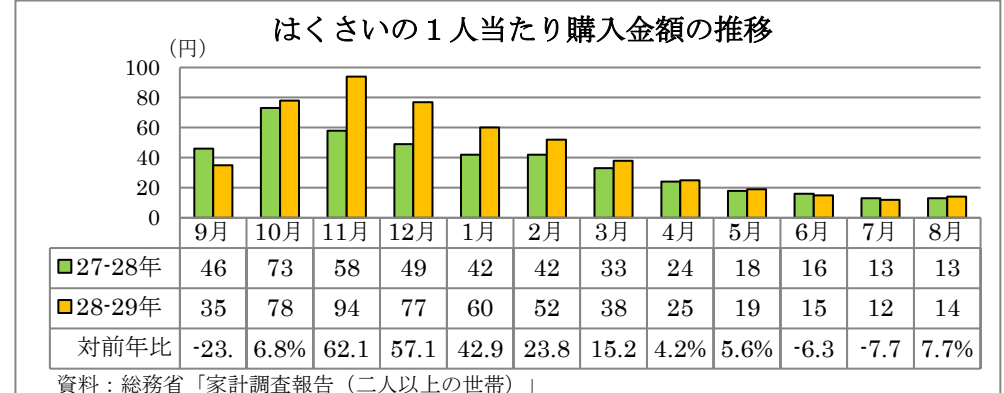
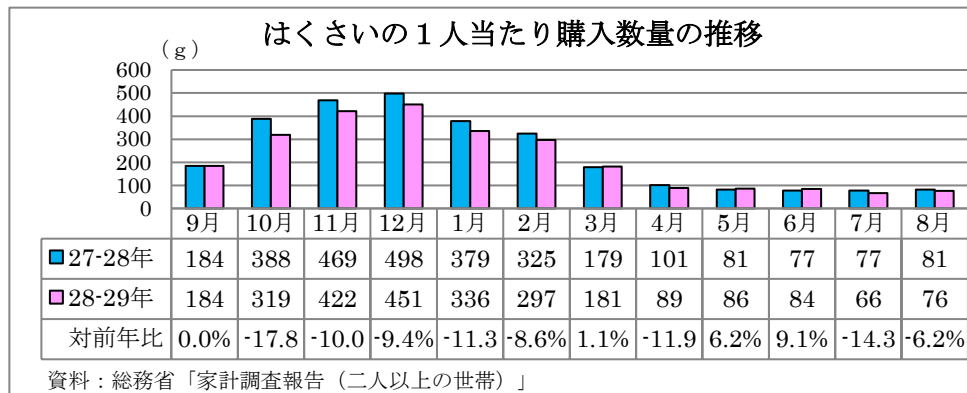
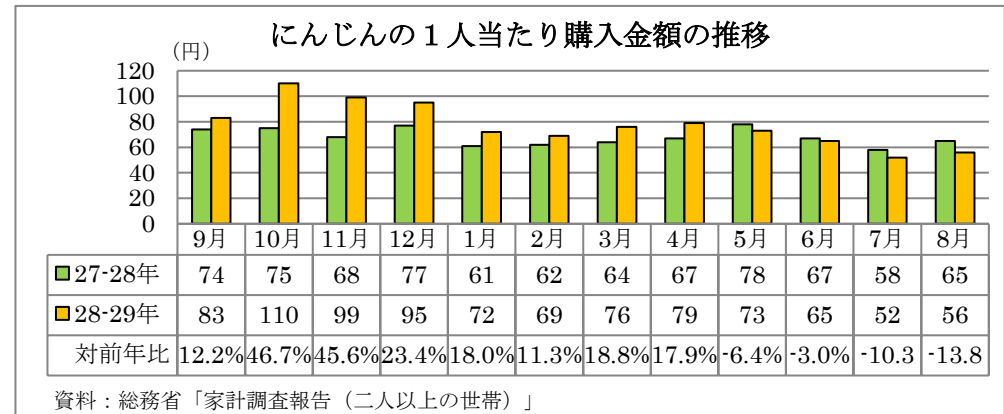
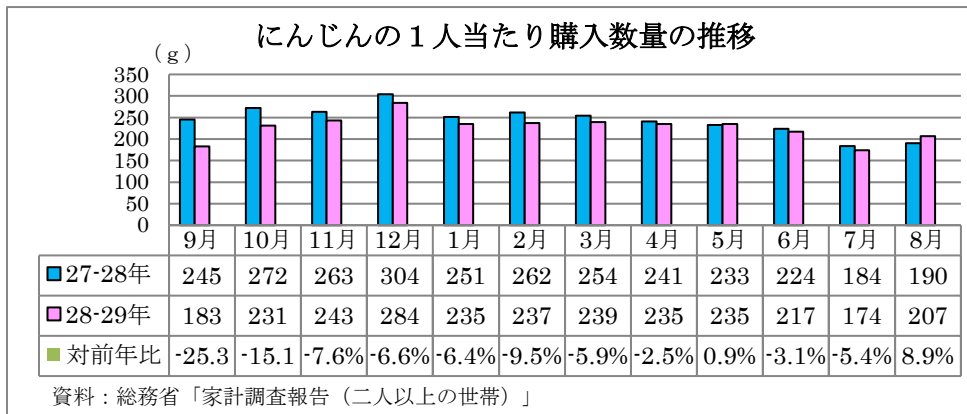


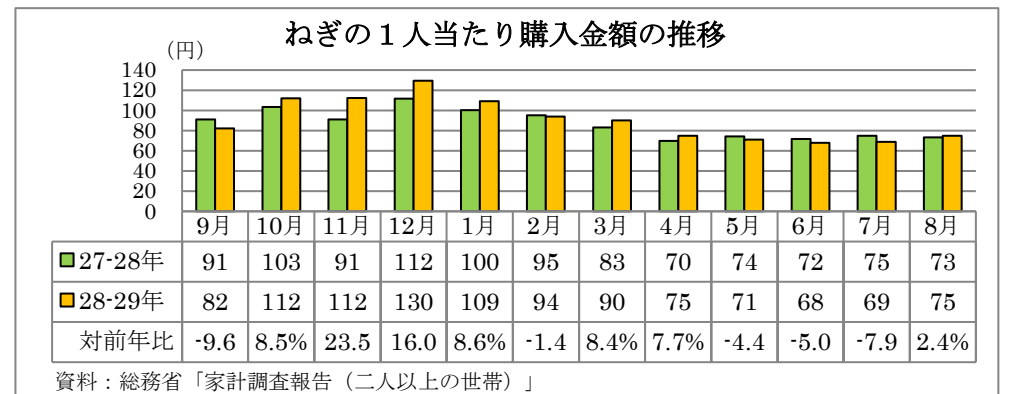
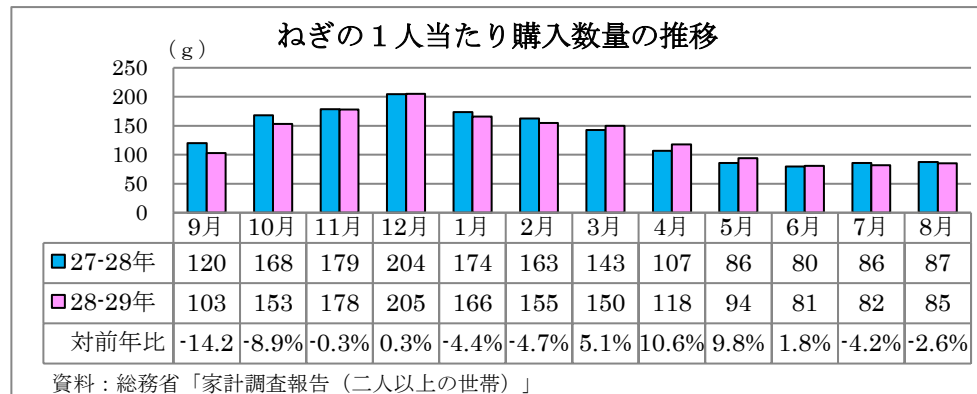
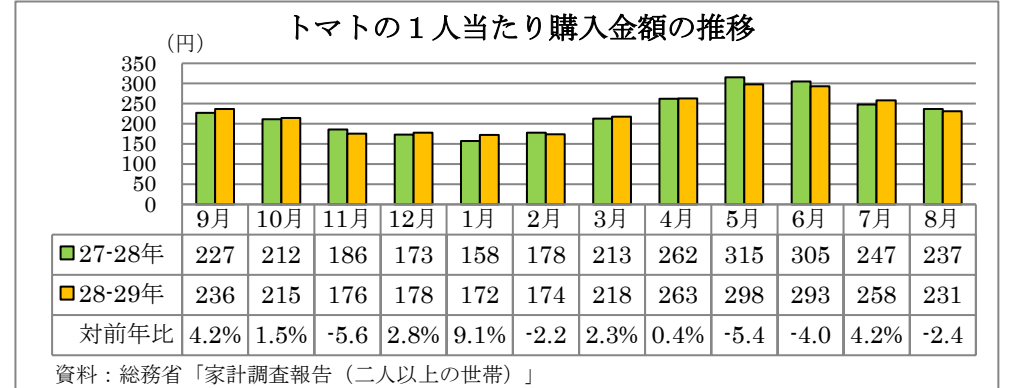
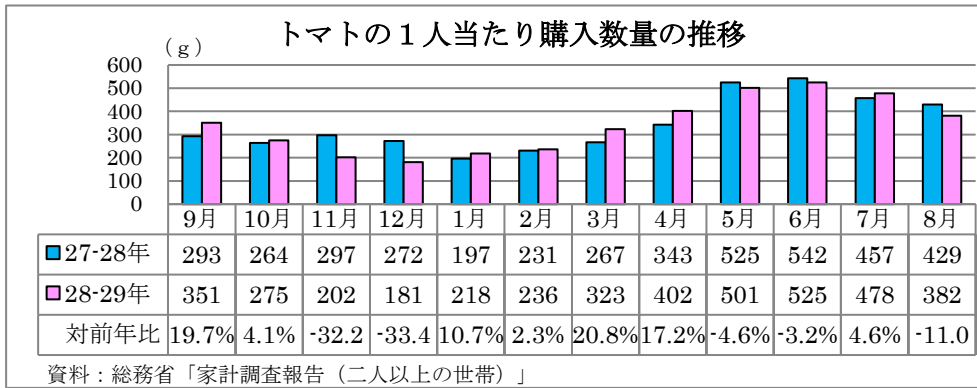
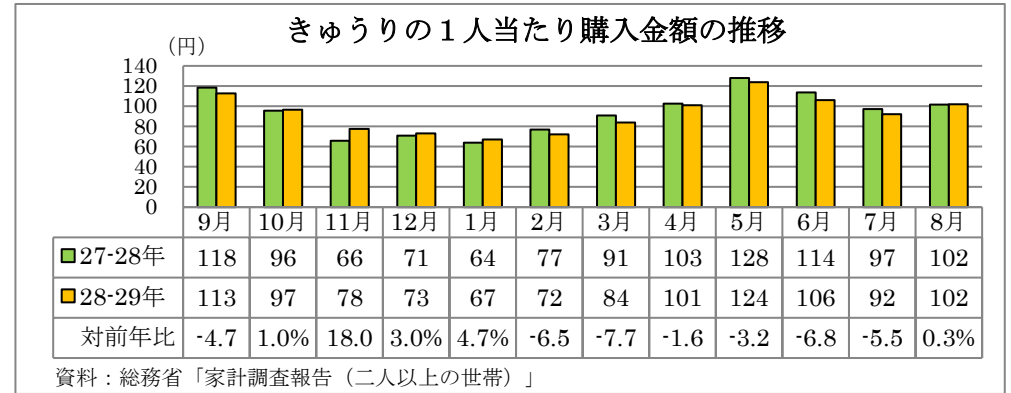
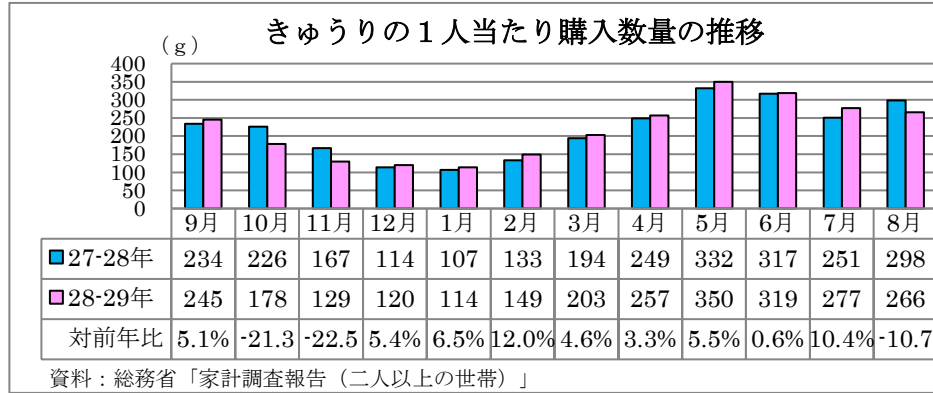
資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」

たまねぎの1人当たり購入金額の推移



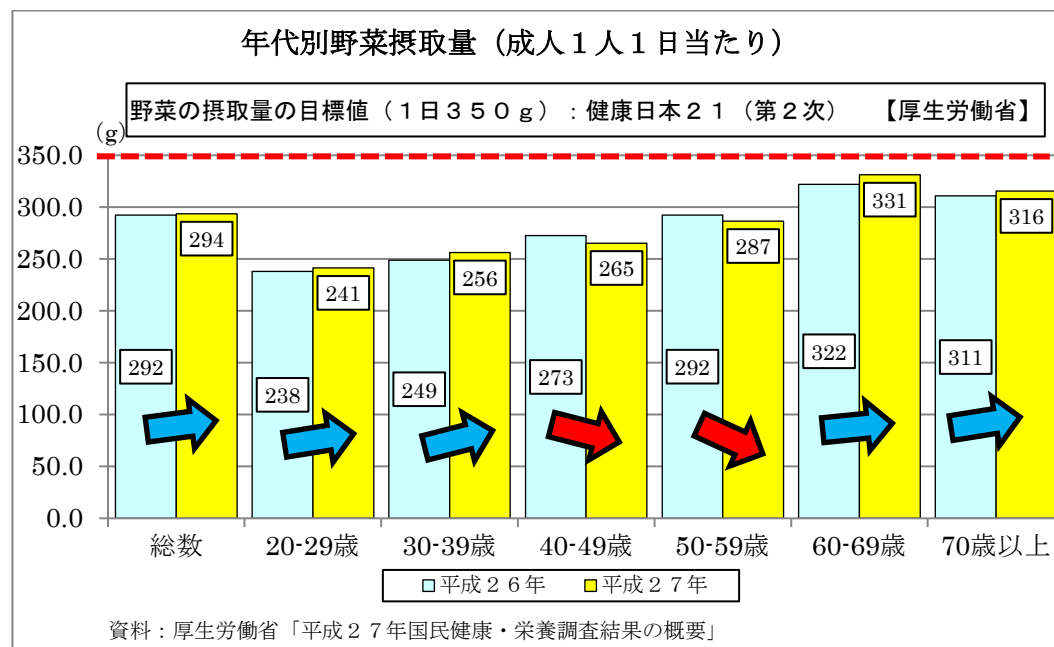
資料：総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」



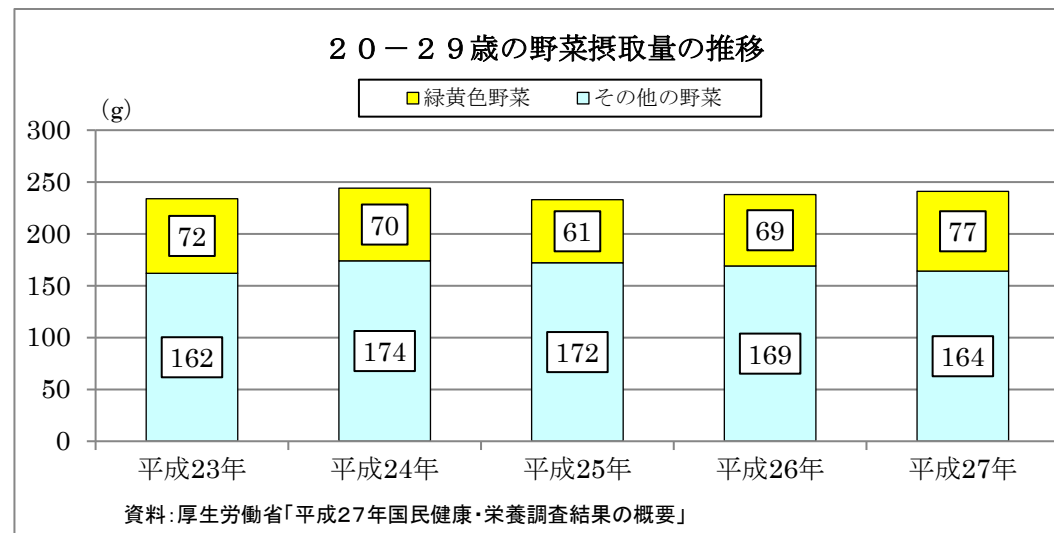


(2) 野菜の摂取量

- 平成27年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、前年比べて増加し、総数は294グラム（前年比101%）となったが、依然として、全ての年代で健康日本21（第2次）で示された野菜の摂取量の目標値（1日350g）を下回っている。また、これまでと同様に20代が一番低い水準となっている。



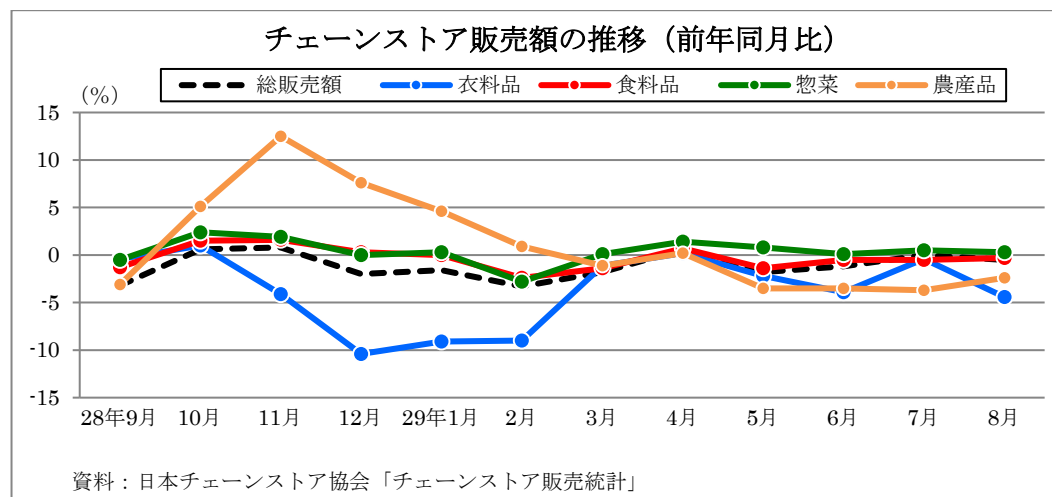
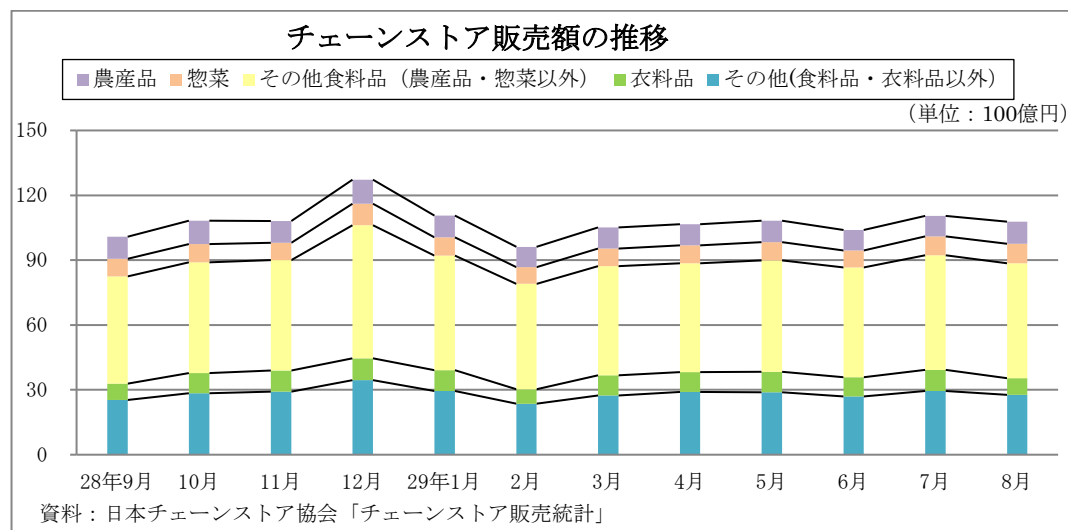
- 野菜摂取量が最も少ない20代の過去5年間の推移を見ると、ほぼ横ばいとなっている。緑黄色野菜とその他の野菜別に見ると、その他の野菜が減少（前年3.0%減）したものの、緑黄色野菜が増加（前年11.6%増）して、全体ではわずかに増加（前年比1.3%増）となった。



2. 小売の販売動向（平成28年9月～平成29年8月）

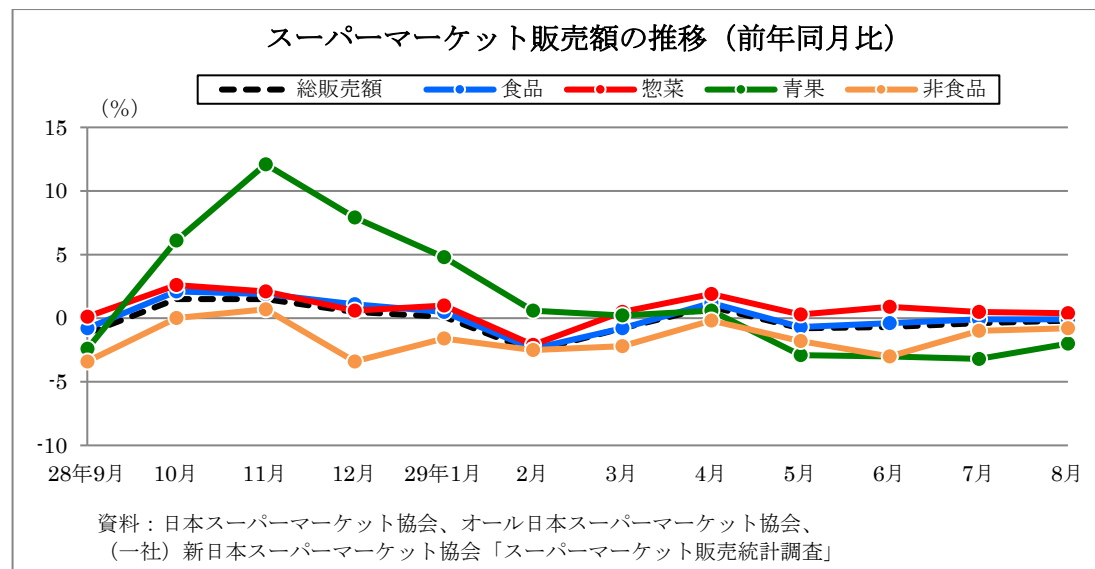
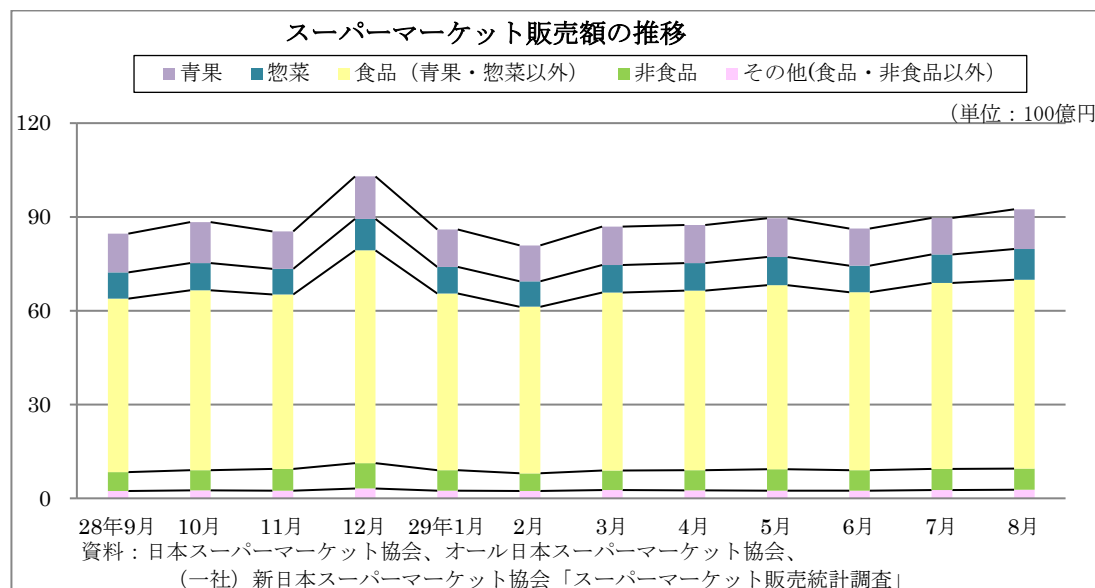
（1）チェーンストア

- 総販売額の最高額は12月の1兆2,722億円、最低額は2月の9,616億円であった。
前年同月の動向は、9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少、12月から3月、6月は衣料品の販売の不調、5月は農産品の相場安の影響により、それぞれ前年を下回った。
- 農産品の販売額の最高額は12月の1,113億円、最低額は2月の941億円であった。
前年同月の動向は、9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少により前年を下回った。10月から2月にかけては長雨・日照不足等による相場高で前年を上回った。
5月から7月にかけては相場安の影響で前年を下回った。8月は東日本の太平洋側を中心に長雨が続いたことから、前年を下回った。
- 惣菜の最高額は12月の995億円、最低額は2月の774億円であった。
前年同月の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりで消費者に支持され、9月、2月を除いて前年を上回った。9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少、2月は前年が閏年であったため、それぞれ前年を下回った。

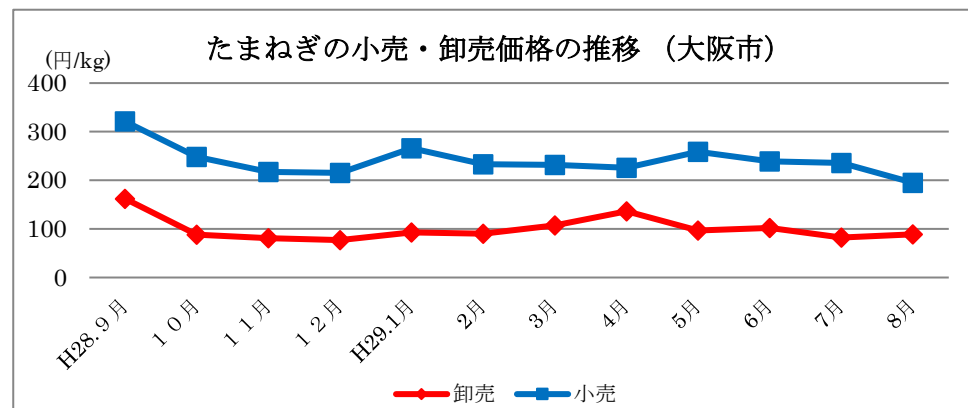
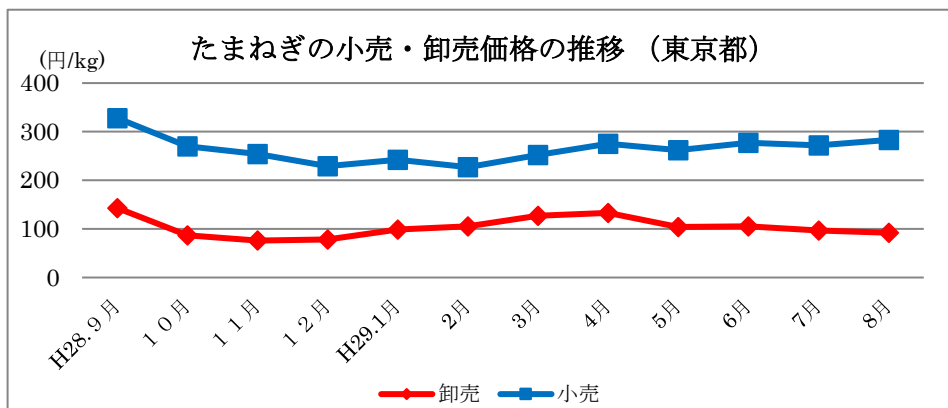
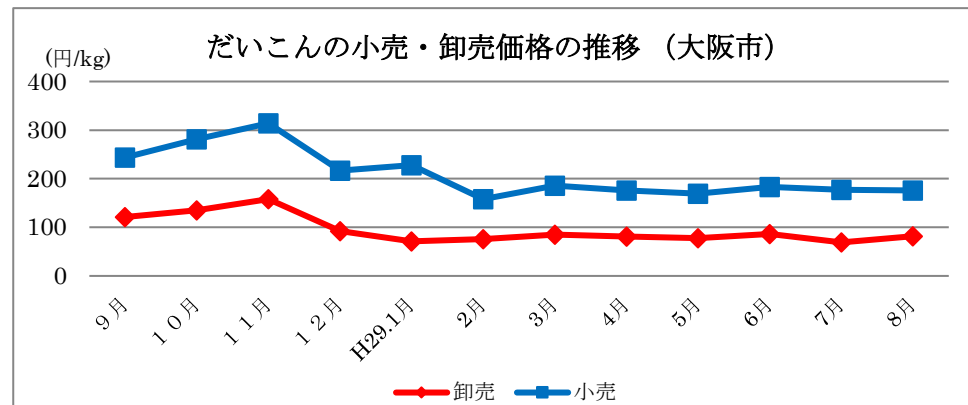
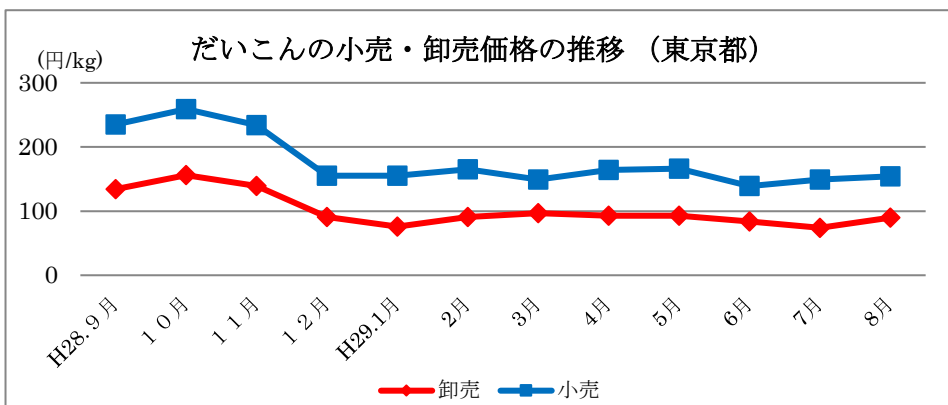
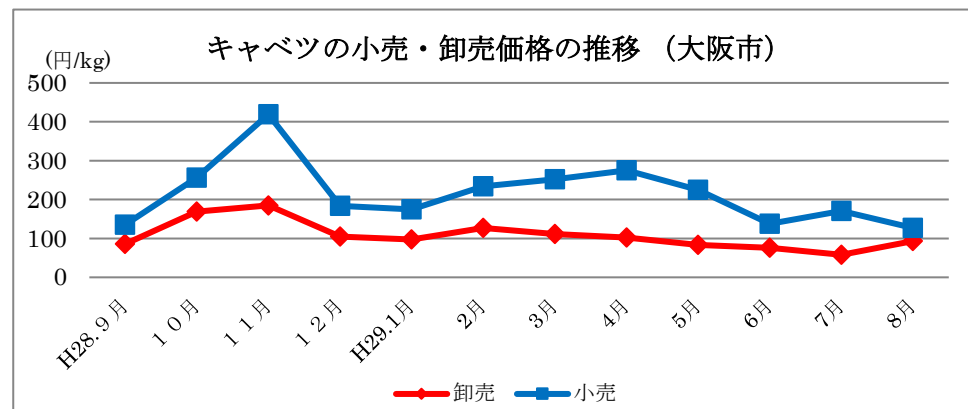
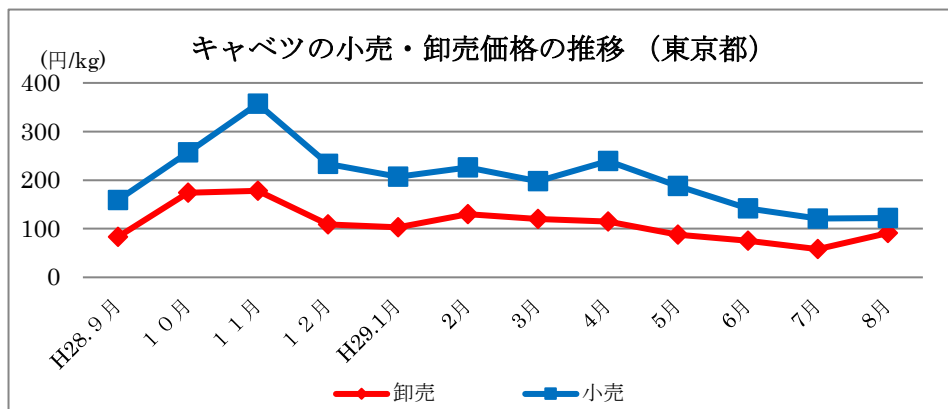


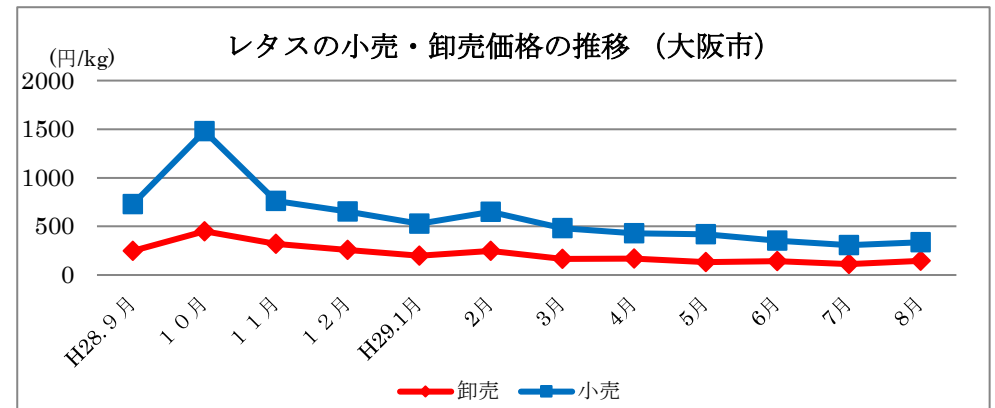
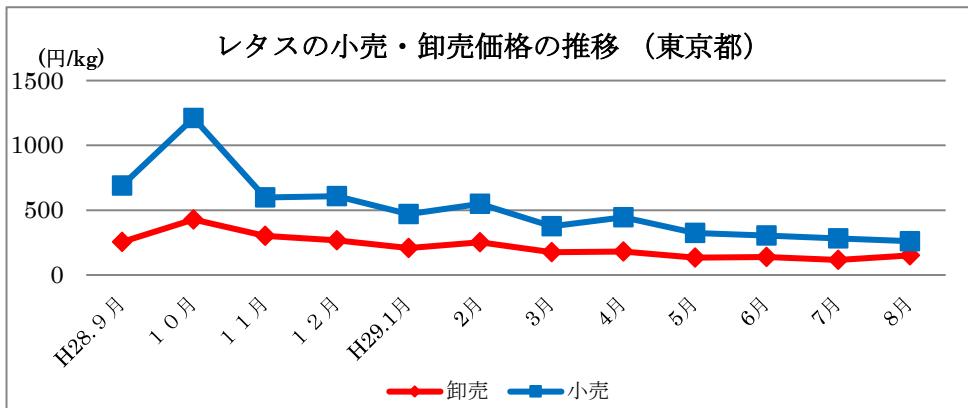
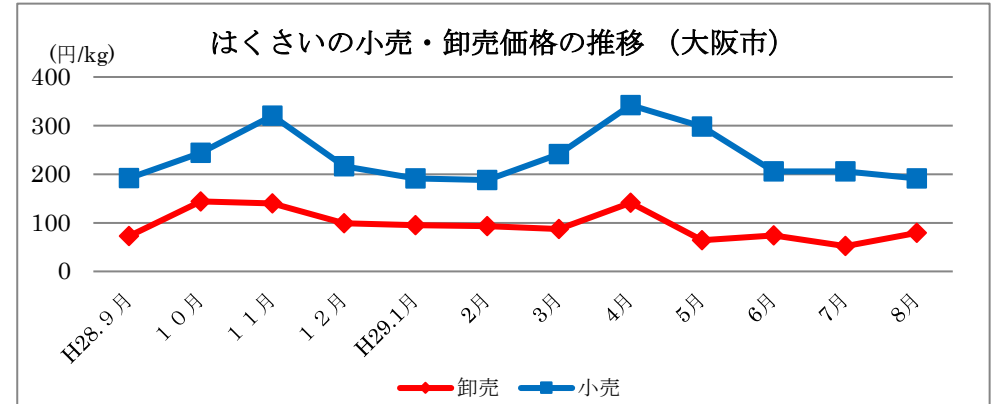
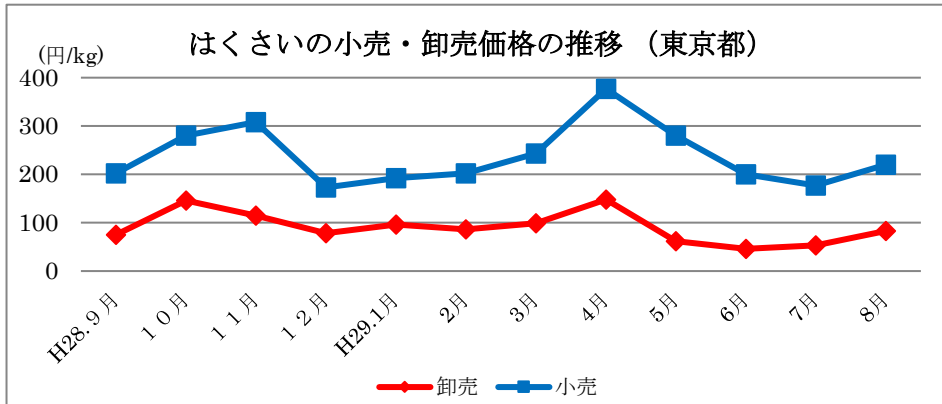
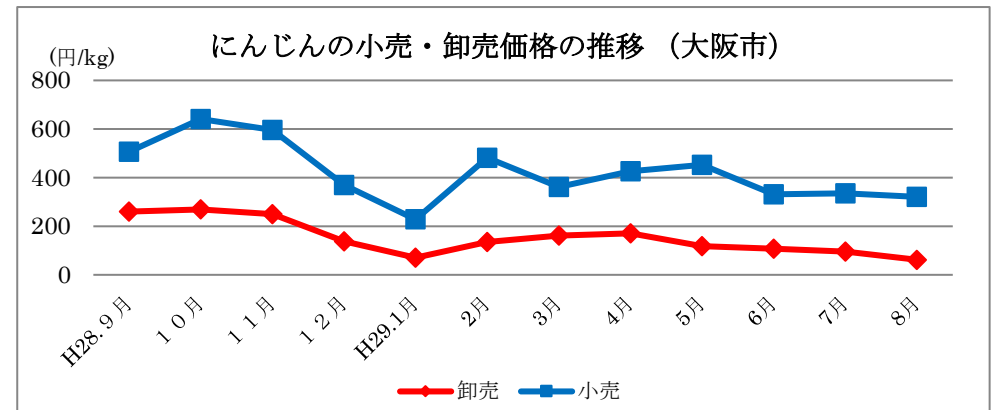
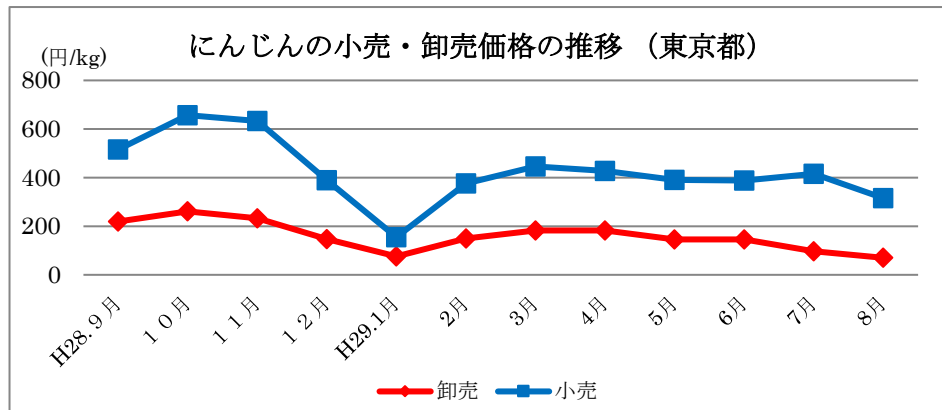
(2) スーパーマーケット（平成28年9～平成29年8月）

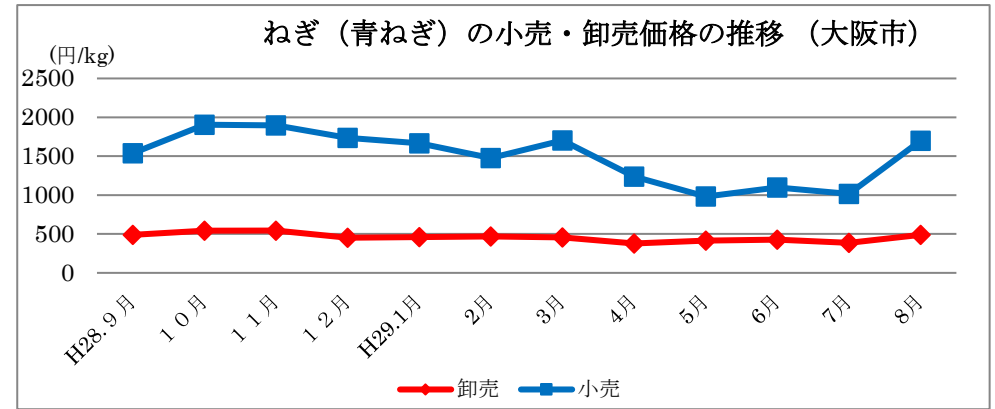
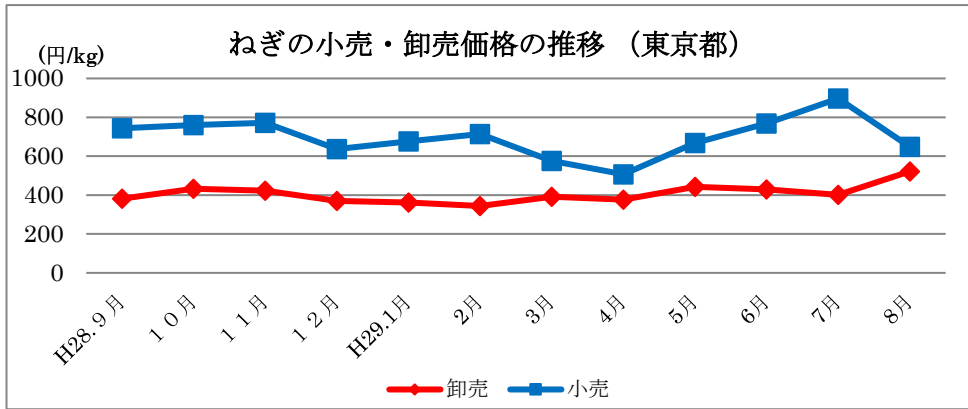
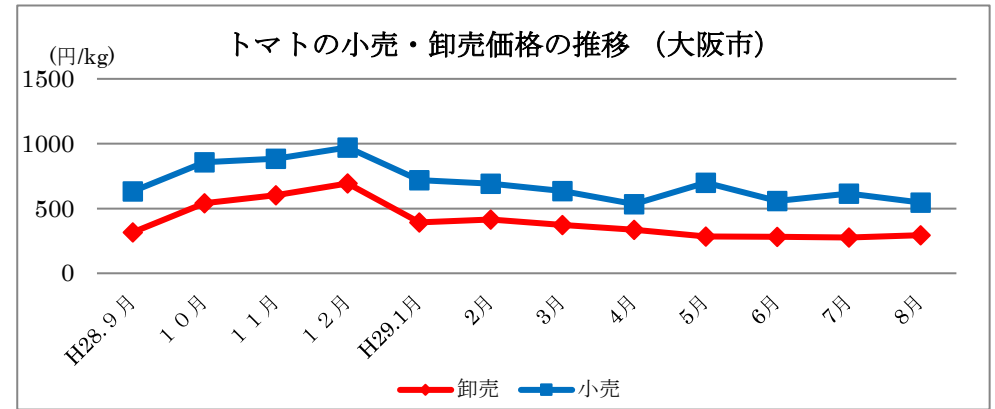
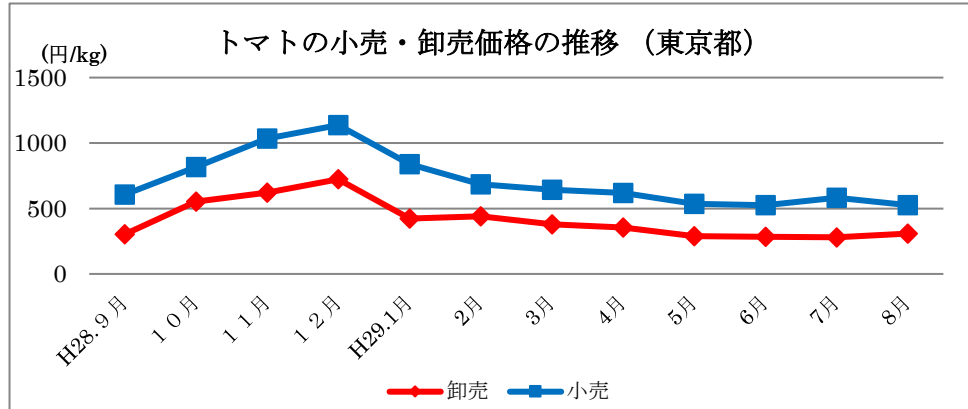
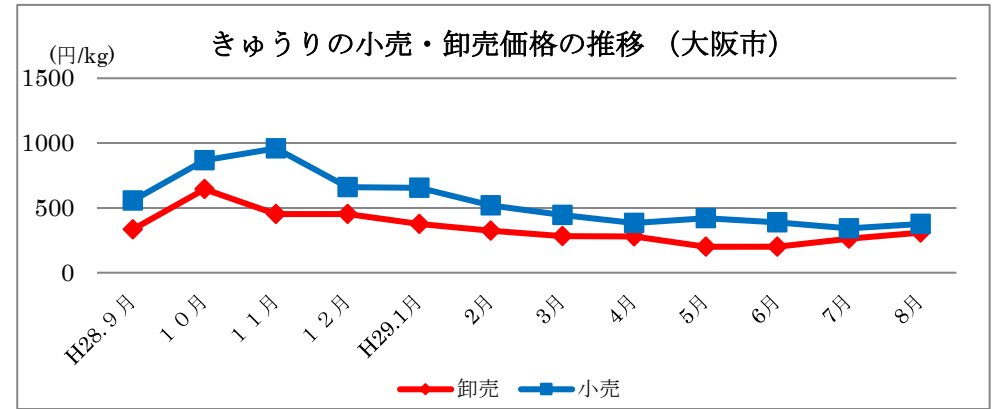
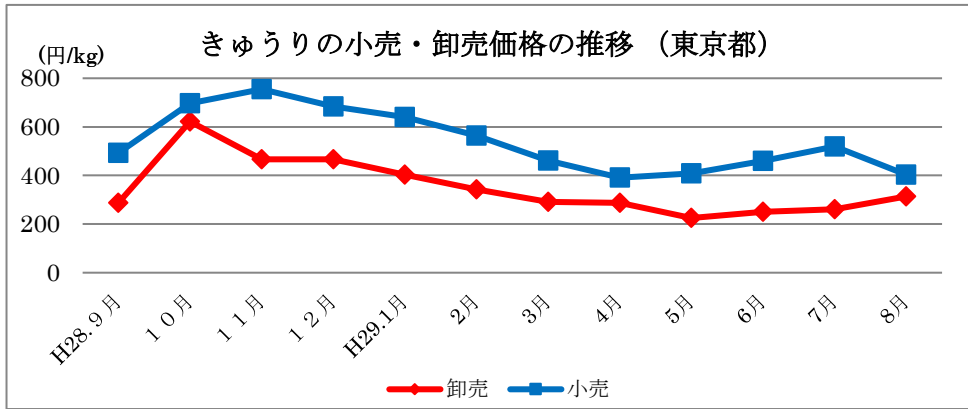
- 総販売額の最高額は12月の1兆294億円、最低額は2月の8,092億円であった。
前年同月比の動向は、9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少から前年を下回ったものの、10月から1月は長雨・日照不足等による青果の相場高により前年を上回った。2月は閏年であった前年を下回り、3月以降は概ね前年並みとなった。
- 青果の最高額は12月の1,358億円、最低額は2月の1,149億円であった。
前年同月比の動向は、9月は相次ぐ台風の襲来等による来客数の減少から前年を下回り、10月から1月は長雨・日照不足等による相場高で前年を上回った。5月から7月にかけては相場安の影響で前年を下回った。8月は東日本の太平洋側を中心に長雨が続いたことから、前年を下回った。
- 惣菜の最高額は12月の1,007億円、最低額は2月の816億円であった。
前年同月比の動向は、高齢化や個食化、時短ニーズの高まりを背景に消費者から支持され、2月を除いて前年を上回った。2月は前年が閏年であったことから、それぞれ前年を下回った。



(3) 品目別小売・卸売価格

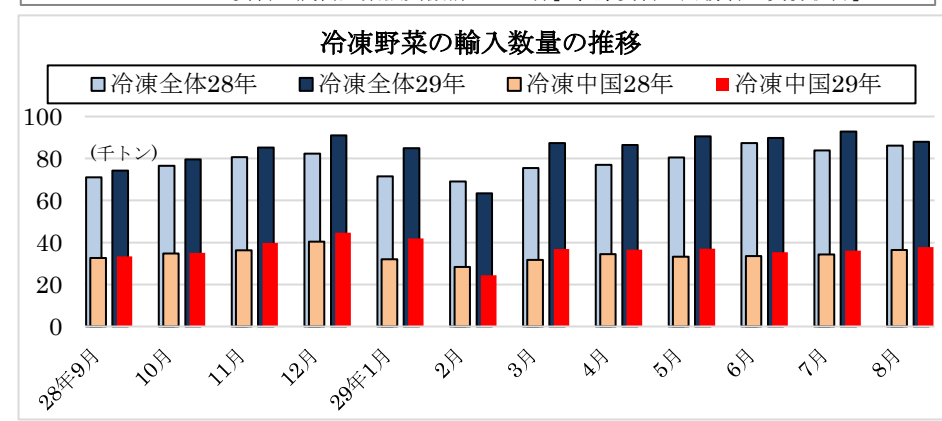
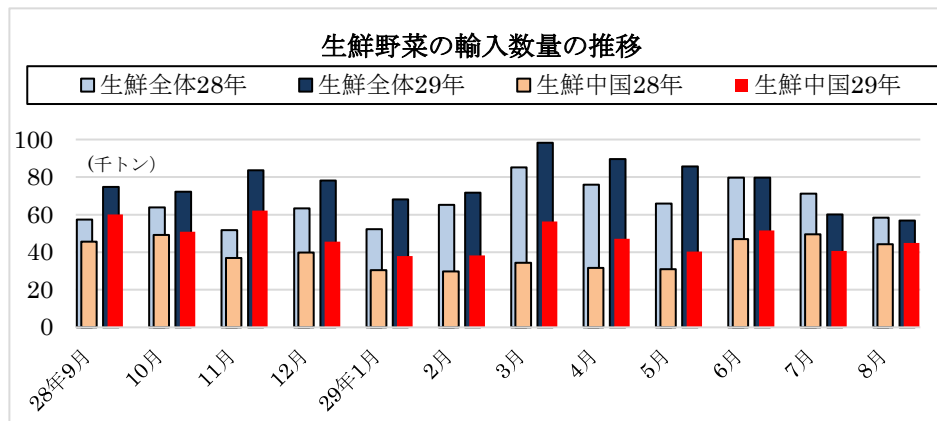
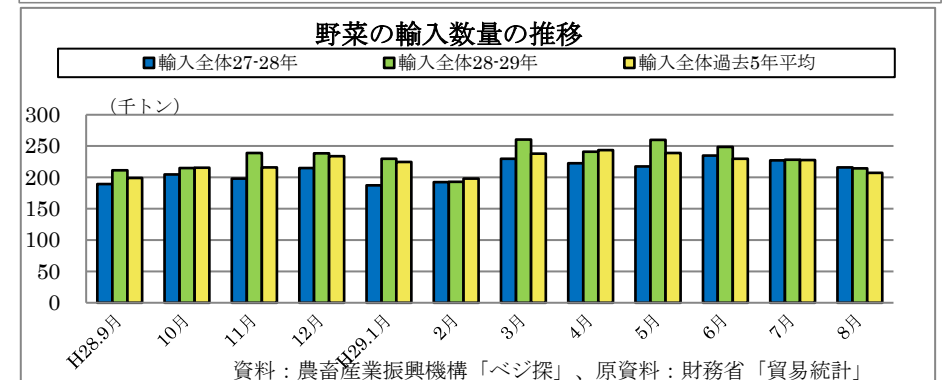
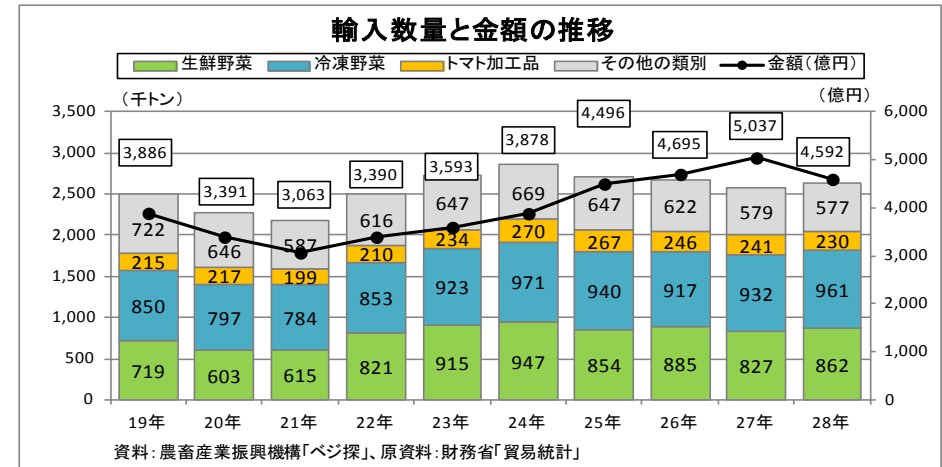


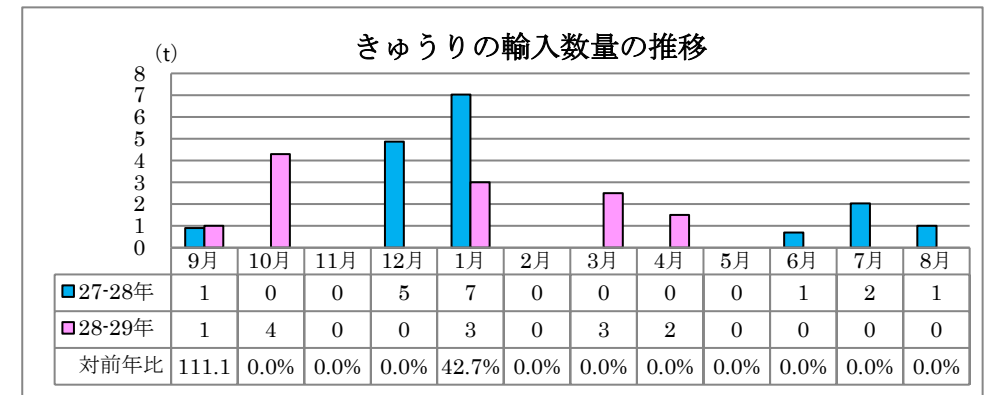
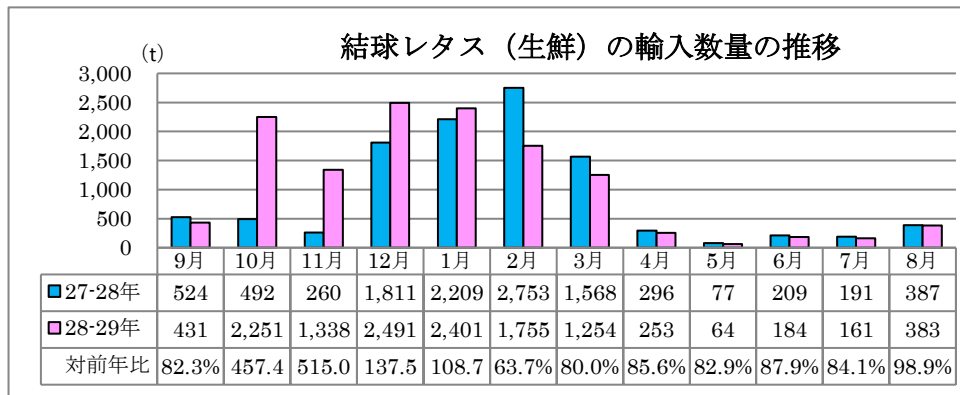
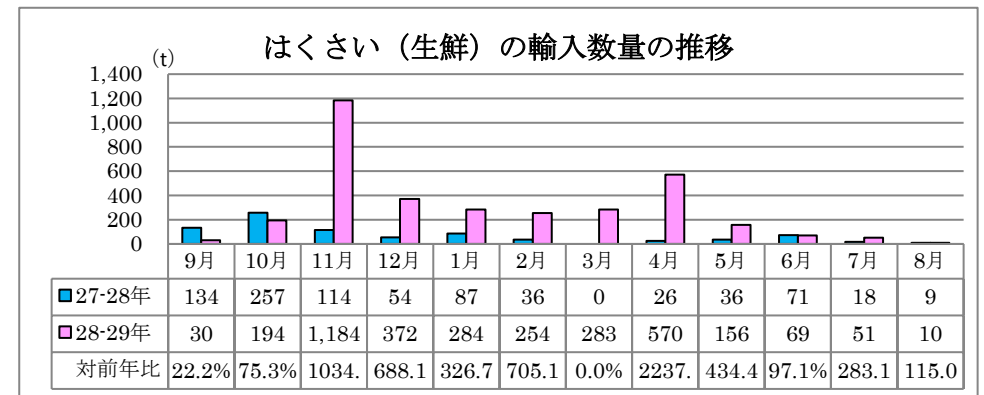
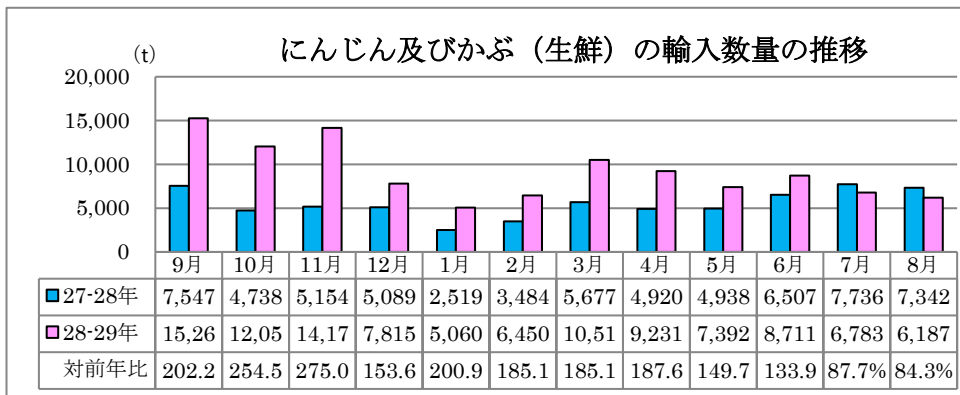
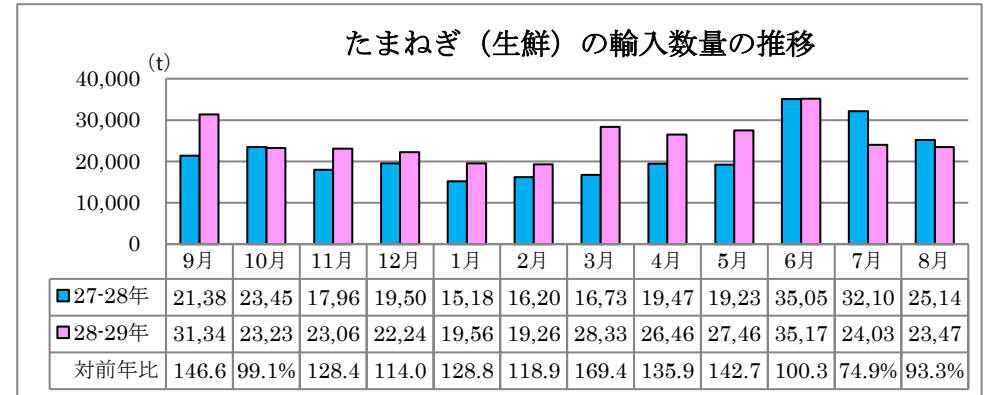
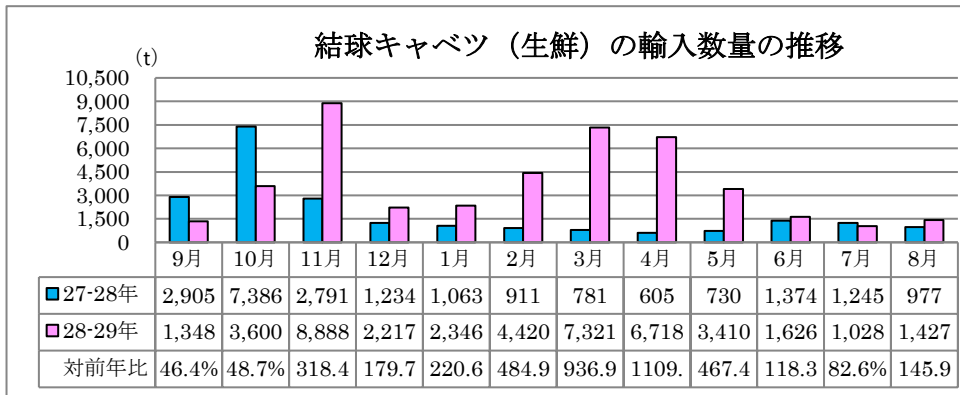


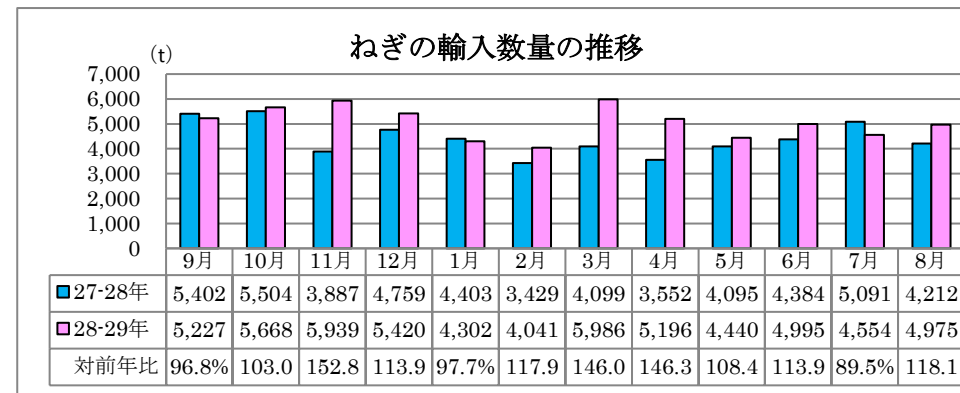
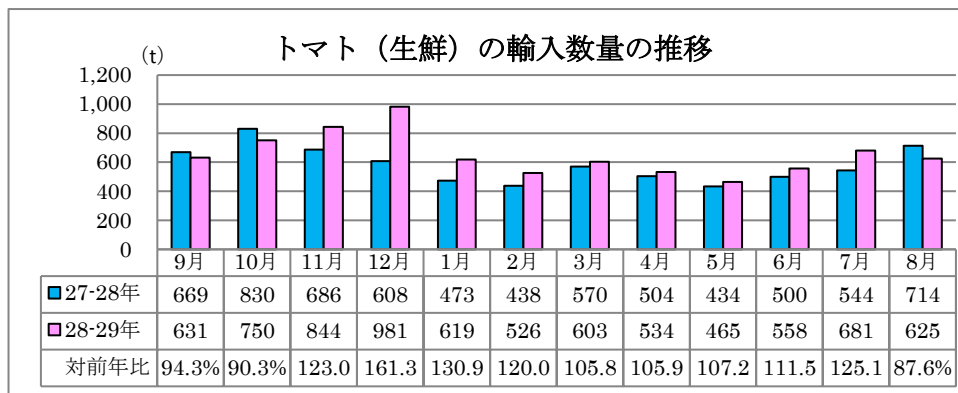


3. 輸入の動向

- 野菜の輸入数量と金額の推移を見ると、輸入数量については、平成24年以降減少傾向で推移していたが、平成28年は、天候不順の影響等により国内産の出荷数量が減少したため、前年比2%増の263万トン（+52千トン）となった。
輸入金額については、円安等による輸入価格の上昇により過去最高だった平成27年に比べ、平成28年は、円高傾向となったこともあり、前年比9%減の4,592億円（▲445億円）となった。
- 野菜の輸入数量の推移について見ると、9月から7月まで、生鮮野菜及び冷凍野菜ともに輸入が増加したことから前年を上回り、8月は、冷凍野菜の輸入は増加したものの、生鮮野菜の輸入の減少が大きかったことから、前年を下回った。
- 生鮮野菜の輸入数量の推移を見ると、9月から5月は長雨・日照不足等の影響により国内産の主要野菜の出荷数量が減少したことから前年を上回った。6月以降は、佐賀産たまねぎ及び北海道産にんじんの出荷が順調であったことから前年を下回った。
- 冷凍野菜の輸入数量の推移を見ると、9月以降（2月は除く）は、ファストフードを中心に冷凍ばれいしょ等に対する需要が堅調であることに加え、特に9月から5月は長雨・日照不足等の影響で国内産の主要野菜の出荷数量が減少したこともあり、前年を上回った。







資料：農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料：財務省「貿易統計」

平成28年産秋冬野菜主要品目の主産県別生産・出荷等

資料：農林水産省「作物統計(野菜)」
平成29年8月29日公表

○ 冬キャベツ

順位	全 国・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	15,400	3,930	605,300	539,600	100.0
1	愛 知	4,190	4,630	194,000	183,800	34.1%
2	千 葉	1,530	4,360	66,700	60,200	11.2%
3	鹿 児 島	1,490	3,760	56,000	50,200	9.3%
4	茨 城	907	4,440	40,300	37,000	6.9%
5	神 奈 川	574	4,350	25,000	23,200	4.3%
6	熊 本	560	3,340	18,700	16,600	3.1%
7	兵 庫	443	3,540	15,700	13,000	2.4%
8	福 岡	379	3,940	14,900	13,400	2.5%
9	宮 崎	348	4,200	14,600	13,400	2.5%
10	静 岡	311	3,350	10,400	8,760	1.6%

○ 秋冬だいこん

順位	全 国・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	21,500	4,220	906,600	694,500	100.0%
1	宮 崎	1,850	4,130	76,400	68,800	9.9%
2	鹿 児 島	1,700	4,820	81,900	73,500	10.6%
3	千 葉	1,640	5,560	91,200	83,000	12.0%
4	新 潟	1,380	3,450	47,600	30,700	4.4%
5	神 奈 川	1,010	8,260	83,400	79,300	11.4%
6	茨 城	934	4,670	43,600	35,000	5.0%
7	青 森	928	3,780	35,100	30,300	4.4%
8	北 海 道	711	3,870	27,500	24,600	3.5%
9	長 野	581	2,760	16,000	5,200	0.7%
10	福 島	566	3,470	19,600	7,150	1.0%

○ たまねぎ

順位	全 国・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	25,800	4,820	1,243,000	1,107,000	100.0%
1	北 海 道	14,300	5,900	843,700	783,000	70.7%
2	佐 賀	2,580	3,260	84,100	74,500	6.7%
3	兵 庫	1,720	5,060	87,000	78,000	7.0%
4	長 崎	823	3,000	24,700	22,300	2.0%
5	愛 知	609	5,230	31,900	28,300	2.6%
6	熊 本	329	3,170	10,400	8,770	0.8%
7	静 岡	311	3,800	11,800	10,600	1.0%
8	愛 媛	298	3,200	9,540	7,150	0.6%
9	群 馬	255	4,550	11,600	9,870	0.9%
10	新 潟	249	2,220	5,530	3,050	0.3%

○ 冬にんじん

順位	全 国・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	7,830	3,080	240,900	207,400	100.0%
1	千 葉	2,390	3,360	80,300	73,900	35.6%
2	茨 城	637	3,540	22,500	17,700	8.5%
3	鹿 児 島	550	3,440	18,900	15,900	7.7%
4	長 崎	540	3,670	19,800	18,500	8.9%
5	愛 知	402	4,790	19,300	18,000	8.7%
6	埼 玉	372	3,670	13,700	11,600	5.6%
7	熊 本	352	2,840	10,000	8,500	4.1%
8	宮 崎	347	2,920	10,100	9,110	4.4%
9	青 森	247	2,850	7,040	6,320	3.0%
10	新 潟	152	2,580	3,920	3,000	1.4%

○ 秋冬はくさい

順位	全 国・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	13,000	4,570	594,100	453,700	100.0%
1	茨 城	2,690	7,240	194,800	178,700	39.4%
2	長 野	655	7,590	49,700	40,900	9.0%
3	福 島	543	2,970	16,100	5,330	1.2%
4	栃 木	507	4,950	25,100	16,800	3.7%
5	埼 玉	474	4,680	22,200	13,500	3.0%
6	兵 庫	460	4,370	20,100	14,600	3.2%
7	愛 知	451	4,670	21,100	18,900	4.2%
8	宮 城	450	1,640	7,380	2,690	0.6%
9	群 馬	387	4,760	18,400	13,400	3.0%
10	新 潟	387	1,700	6,580	2,790	0.6%

○ 冬レタス

順位	全 国・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全国比率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	8,050	2,340	188,600	174,900	100.0%
1	茨 城	1,460	2,220	32,400	30,700	17.6%
2	兵 庫	857	2,290	19,600	19,000	10.9%
3	静 岡	781	2,640	20,600	19,800	11.3%
4	香 川	756	2,160	16,300	15,300	8.7%
5	長 崎	723	3,680	26,600	23,800	13.6%
6	福 岡	656	1,740	11,400	10,900	6.2%
7	熊 本	507	2,920	14,800	13,900	7.9%
8	千 葉	339	2,000	6,780	6,100	3.5%
9	愛 知	302	1,530	4,620	4,280	2.4%
10	徳 島	282	2,070	5,840	5,440	3.1%

○ 秋冬ねぎ

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	14,200	2,040	290,200	222,700	100.0%
1	埼 玉	1,970	2,400	47,300	38,300	17.7%
2	千 葉	1,370	2,550	34,900	30,300	14.1%
3	群 馬	836	1,830	15,300	11,300	6.3%
4	茨 城	784	2,440	19,100	14,500	8.2%
5	長 野	565	1,780	10,100	4,270	3.4%
6	福 島	517	1,680	8,690	4,960	5.6%
7	大 分	483	1,760	8,500	7,640	2.7%
8	新 潟	474	1,890	8,960	6,170	2.2%
9	栃 木	439	1,960	8,600	6,450	4.0%
10	宮 城	378	1,530	5,780	3,760	1.8%

平成27年産春野菜主要品目の主産県別生産・出荷等

資料：農林水産省「作物統計(野菜)
平成28年12月2日公表

○ 冬春きゅうり

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	2,850	10,100	289,200	270,300	100.0%
1	宮 崎	577	9,750	56,300	53,700	19.9%
2	群 馬	301	10,700	32,200	29,200	10.8%
3	埼 玉	257	10,900	28,000	25,500	9.4%
4	千 葉	221	11,800	26,100	24,100	8.9%
5	茨 城	157	10,500	16,500	15,700	5.8%
6	高 知	136	17,300	23,500	22,600	8.4%
7	福 島	99	8,080	8,000	7,560	2.8%
8	神 奈 川	93	5,410	5,030	4,730	1.7%
9	熊 本	77	8,530	6,570	6,310	2.3%
10	佐 賀	74	10,600	7,840	7,500	2.8%

○ 冬春トマト

順位	全 国 ・ 都 道 府 県	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	出 荷 量 全 国 比 率
		ha	kg	t	t	%
	全 国	3,970	9,620	382,100	362,700	100.0%
1	熊 本	821	12,300	101,000	98,400	27.1%
2	愛 知	403	9,000	36,300	34,800	9.6%
3	千 葉	309	7,510	23,200	21,500	5.9%
4	栃 木	226	12,500	28,300	27,100	7.5%
5	宮 崎	171	9,420	16,100	15,200	4.2%
6	静 岡	149	6,930	10,300	9,800	2.7%
7	茨 城	144	8,700	12,500	11,900	3.3%
8	群 馬	135	8,570	11,600	10,600	2.9%
9	福 岡	132	13,800	18,200	17,200	4.7%
10	埼 玉	118	10,500	12,400	11,500	3.2%

5. 今後の気象予報

1ヶ月（11月11日～12月10日）予報に見る確率

	平均気温（1週目）11/11～17	平均気温（2週目）11/18～24	平均気温（3～4週目）11/25～12/8
北日本	低 30% 並 50% 高 20% 平年並 見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 見込み
東日本	低 70% 並 20% 高 10% 低い	低 70% 並 20% 高 10% 低い	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 見込み
西日本	低 80% 並 10% 高 10% 低い	低 70% 並 20% 高 10% 低い	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 見込み
沖縄・奄美	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 60% 並 30% 高 10% 低い	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 見込み

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	少 20% 並 30% 多 50% 多い 見込み	少 50% 並 30% 多 20% 少ない 見込み
	太平洋側	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	少 20% 並 30% 多 50% 多い 見込み	少 50% 並 30% 多 20% 少ない 見込み
東日本	日本海側	低 60% 並 30% 高 10% 低い 見込み	少 20% 並 30% 多 50% 多い 見込み	少 50% 並 30% 多 20% 少ない 見込み
	太平洋側	低 60% 並 30% 高 10% 低い 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	低 60% 並 30% 高 10% 低い 見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
	太平洋側	低 60% 並 30% 高 10% 低い 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み
沖縄・奄美		低 50% 並 30% 高 20% 低い 見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない 見込み

注：「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較（以下同じ。）

出典：「全般1ヶ月予報解説資料」（平成29年11月9日発表 気象庁地球環境・海洋部）

◎3ヶ月（11月～1月）予報に見る確率

	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
北日本	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み
東日本	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	低 30% 並 30% 高 40% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美	低 20% 並 40% 高 40% 平年並か高い見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並の見込み

		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
北日本	日本海側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み
東日本	日本海側	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 30% 多 40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40% 並 30% 多 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み
沖縄・奄美		少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない見込み

出典：「全般3ヶ月予報（11月～1月）解説資料」（平成29年10月25日発表 気象庁地球環境・海洋部）